

Go! Central Japan



各地域での観光地域づくりや、広域で連携した観光プロモーションなどの取り組みを紹介するコーナーです。

千畳敷カール

中経連では、自治体および団体をつなぎ、「本物にふれる経験」をコンセプトにインバウンド向けの3つのモデルコースを造成し、動画と記事の発信を行っている。

今回の「Go! Central Japan」では、そのモデルコースのうち、岐阜県、(一社)長野県観光機構、地域の観光事業者に協力いただき造成した、「中部国際空港－東美濃エリア－南信州エリア」を旅する2泊3日のモデルコースを紹介する。

1 インバウンドに向けた訴求ポイント

個人旅行者やリピーターの増加に伴い、インバウンドのニーズは多様化し、本物の「歴史・文化・自然」に触れる体験型旅行を好む傾向が強まっている。今回紹介するモデルコースでは、そのようなニーズに対応し、日本の精神文化、中山道の街道文化、地域ならではの食事や宿泊を楽しめる施設、駒ヶ根市と宮田村にまたがる千畳敷カールのトレッキングなど、外国人目線で選んだ体験プログラムを充実させた。



2 モデルコースで体験できるプログラム

(1日目) 落合宿周辺での日本文化体験：中津川市の落合宿からほど近い、高福寺で書道、医王寺で茶道の体験が可能。いずれも、住職から作法や寺の歴史を学ぶことができ、外国人旅行者からは「日本文化の精神性について深い理解が得られた」と高い評価を受けている。

(2日目) 馬籠宿－妻籠宿での中山道トレイル：江戸時代の面影を色濃く残す宿場町、馬籠－妻籠を結ぶ中山道トレイル(約9km)は、かつて江戸と京都を往来していた江戸時代の旅人気分を味わえる道。中山道トレイルを歩く外国人旅行者数は、2013年度の約9,000人から2018年度は3万人以上に増加するほど人気を博している。

(3日目) 千畳敷カールのトレッキング：標高2,612mの千畳敷カールでは、春夏は高山植物、秋は紅葉、冬は雪山と、中央アルプスならではのダイナミックな四季折々の風景を満喫できる。駒ヶ岳ロープウェイの千畳敷駅をスタート地点とするトレッキングコース(約50分)も整備され、日本の天空の自然美を気軽に体験することができる。



書道体験の様子 ©japan-guide.com



妻籠宿

3 今後の取り組み

多様な外国人が中部圏に訪れるよう、観光資源の磨き上げに尽力する観光行政や地域の方々と連携し、実際に多くの人に観てもらえる観光プロモーションを探究・検証していく。

モデルコースの動画と記事は、<http://www.chukeiren.or.jp/news/0000/01/post-100.html>からご覧いただけます